

人との繋がりを広め、古街の再生を ～うたづの町家とおひなさん～



香川県 宇多津町

うたづの町家とおひなさん実行委員会



3 活動の成果や波及効果等

第1回（平成16年）の展示参加数は52軒で来訪者約3,000人でしたが、現在は約90軒に広がり、来訪者は平成31年に17,000人、約5.7倍まで増加しています。

運営面では、幼稚園児から大学生を含めた宇多津町全体よりボランティアを受け、現在は宇多津町の春を代表するイベントとして、県内外だけでなく海外からも来訪頂いています。

また、おひなさんを通して、古街とともに活動する団体とともに、地域の魅力に繋がる古街の飾り付け方法や、地産品を使った商品作りが楽しめたり、空家を活用した新たな宿泊施設整備の良好な交流環境が育ち始めています。



記念すべき第1回の記念写真
子ども達の笑顔に自信を持ちました



多くの来訪者で賑わう
古街の風景



古街で収穫された梅を
使ったシロップ作り



アレックス・カー氏監修で町家を
リノベーションした宿泊施設の整備

所在地
香川県綾歌郡宇多津町 1881 番地

活動主体及び連絡先
うたづの町家とおひなさん実行委員会
(0877-49-8009 宇多津町まちづくり課)

対象となる社会資本
古街の町並み
※管理者：宇多津町、地域住民

喜びの声



受賞者
うたづの町家とおひなさん実行委員会
会長 大岩本 洋子

コメント
「古い町並み」の風情を感じ、そこに住む人達の厚意と善意が垣間見れる、気配りのきいた展示を目指しています。これからも町に春を呼ぶイベントとして、多くの方の笑顔が見られるよう取り組んで参ります。

活動の内容
・「古街」の景観保全活動
・イベント資機材の制作・設置
・来訪者のお接待
・古街（歴史・文化）の紹介 など

活動の経緯
平成16年 実行委員会の立ち上げ
平成19年 組織改革（推進強化）
平成27年 四国の風景街道「うたづ今昔
ロマン街道」に登録

1 社会資本の概要

宇多津町は瀬戸大橋のたもとに位置する香川県の中で一番小さな町で、7世紀後半より港が置かれ、鎌倉時代には多くの寺院が建立、室町時代には将軍足利義満の側近細川頼之公のもと四国の中心地として栄えました。今も旧市街地には四国八十八ヶ寺霊場の郷照寺をはじめとした神社仏閣や町家とともに、

歴史と風情ある古い町並み「古街（こまち）」が残っています。

また、住民自らが主体となった遍路道や古刹と町家を有する古街の保全活動により、平成27年3月31日に四国の風景街道「うたづ今昔ロマン街道」に登録されています。



歴史と風情ある町並みが残る「うたづの古街」



地域が協働した古街の保全活動

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

宇多津町の瀬戸内海に面した北部は、賑やかで若々しい都会的な新市街エリアとして県下随一の経済発展と人口増加を誇っていますが、古街エリアでは町家の老朽化や、空き家の増加が大きな問題となっていました。

地域にはお遍路の「お接待文化」が根付いていたことから、各家に代々伝わるおひなさんを披露するおもてなしから始めようと、平成16年1月に「うたづの町家とおひなさん実行委員会」を立ち上げました。

古街の住民は、まず「町家が残る風情ある町並み」を活かした活動により住民の意識を高めようと考えました。

地域の住民は、多くの皆さんとの交流プログラムを目指し、仕掛けづくりと、自分たち自身の手による工夫体験を楽しんでいます。



古街の飾りは住民の手作り



古街を巡ってもらうため、街中の玄関や窓の戸を全部「あける」仕掛けづくり



かつて宇多津町で行われていた婚礼の様子を再現した「うたづの嫁入り福あるき」



手づくり郷土賞

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編